

平成 29 年 2 月 1 日
 公益財団法人九州先端科学技術研究所
 福岡市
 国立大学法人九州大学
 公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構

★九大学研都市において 4 者連携による 福岡型の分析・解析支援ネットワーク を構築

分析・解析よろず相談事業『分析 NEXT』を本格始動します。
 企業の皆様、まずはお気軽にご相談を！！

公益財団法人九州先端科学技術研究所（以下 ISIT）、福岡市、国立大学法人九州大学（以下九州大学）及び公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構（以下 OPACK）は、高度な分析機器等が集積する九州大学学術研究都市の優位性を生かし、産業界における製品・材料等の分析・解析に関する課題の解決を支援するために、福岡型の分析・解析支援ネットワークを構築し、『分析・解析よろず相談事業（分析 NEXT）』を、本格始動いたします。



1. 支援の 3 つの特徴

(1) 幅広い対応 (よろず相談)



- ・問題解決にあたり、どのような分析的なアプローチをすれば良いかわからない。
- ・どこにどのような装置があるかわからない。
- ・どのような分析・解析技術があるかわからない。
- ・誰にどのように頼めば良いかわからない。

依頼者（企業等）

相談・問い合わせ

相談内容の精査、判断、分析メニューの提示

九州大学との連携



依頼者のお困り事への相談対応の他、

- ・具体的な分析機器の利用に関する相談
- ・分析による問題解決への取り組み方法（アプローチの仕方）に関する助言
- ・分析結果の解釈やフィードバックなど、課題解決に向けたコンサルティング
- ・分析機器を安全、安心して使用できるよう、技術的な指導・助言等が可能です。

問題解決にあたり、「もしかしたら分析することで何かわかるかもしれないが、分析のノウハウがない。」など、お困り事があるときは、まずはお気軽にご相談ください。

(2) 多様な専門家の協力

『分析NEXT』では、趣旨に賛同する大学等研究者・技術者、企業等で様々な分析業務を経験した専門家によるネットワークを活用し、多岐にわたる相談内容に対してその課題にあった専門的知見・技術による助言・協力をを行います。

(3) 気軽に相談できる料金体系 (初期相談無料、10,000 円/時間) ※料金詳細次頁

◆料金体系

・初期相談（無料）

・コンサルティング(専門的・技術的助言・指導等)

10,000 円/時間（※時間は調査等に要する時間を含む。）

なお、中核機関である ISIT の賛助会員企業については、1 年度間に 3 時間×賛助会員口数分のコンサルティングは無料でご利用できます。

(注) 各種分析機器の使用にあたっては別途機器使用料等がかかります。

相談内容に応じて、別途コンサルティング契約、受託研究（分析・解析）、共同研究を行うことができます。（金額は別途協議のうえ締結します）

2. 連携体制

(1) 代表世話人

山田 淳（九州大学工学研究院教授兼 AiRIMaQ アカデミックアドバイザー、ISIT 理事）

(2) 参画機関と役割

参画機関名	役 割
ISIT	分析 NEXT 事務局、よろず相談窓口、コンサルティング 等
福岡市	福岡市産学連携交流センター分析機器室の利用促進 等
九州大学	学内分析機器の学外利用の推進（中央分析センター等） 等
OPACK	超高压電子顕微鏡フォーラムとの連携、国内外への P R 等

3. 試行実施における主な支援事例

- (1) オリーブ油のナノ化ローションの品質評価について
- (2) 廃グリセリン（廃植物油）の燃料化に関する相談について
- (3) 牡蠣養殖用イカダ（竹製）の耐久化について
- (4) 菌類による食品廃棄物分解処理の機械化について
- (5) 二枚貝人工種苗の観察法について
- (6) 油漏えい処理剤（中和剤）について



※このほか、公的機関からの分析相談や大学や学生からの装置利用・分析課題等の相談にも対応。

4. 相談窓口

ISIT ナノテク分析・解析支援室（福岡市産学連携交流センター 分析機器室内）

E-MAIL : bunseki@next-soudan.com（相談専用アドレス）

U R L : <http://next.isit.or.jp>

◆記者発表に関するお問い合わせ先

(公財)九州先端科学技術研究所 イノベーション推進室

担当 島野, 山本 TEL : 092-805-3810

福岡市経済観光文化局創業・立地推進部 担当 石井, 濱崎 TEL : 092-711-4334

分析 NEXT の概要

1. 設立の経緯

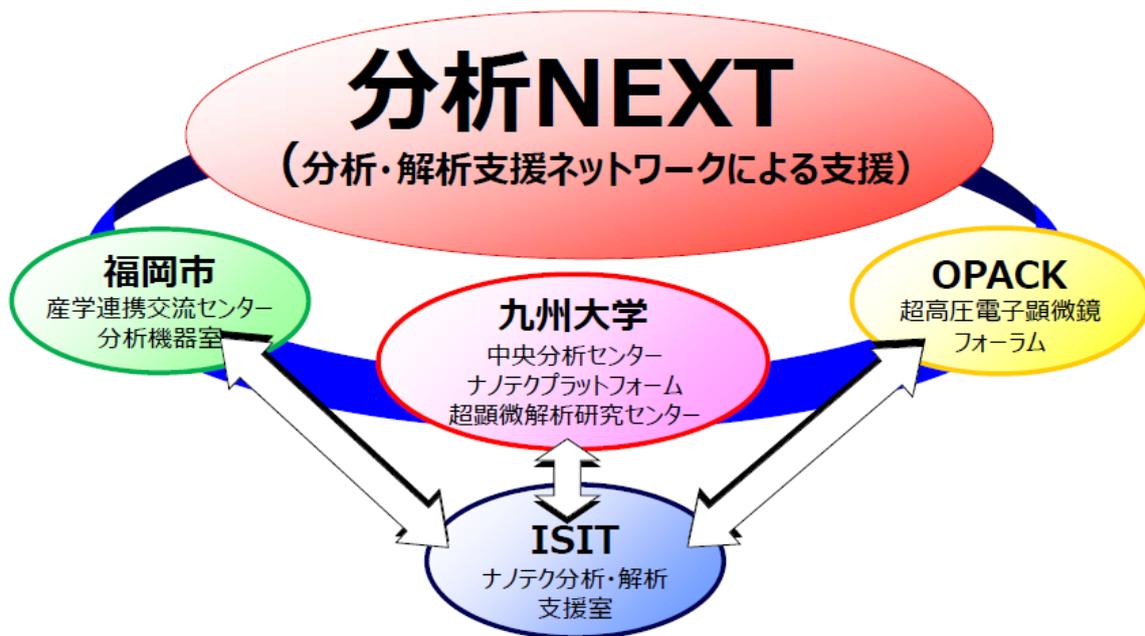
九州大学の伊都地区への移転を契機として、伊都キャンパスを中心に産学官が一体となって『九州大学学術研究都市づくり』を進めています。

その中で、九州大学は日本有数の規模を誇る高度な分析機器の集積を進めてきました。

平成 25 年度には福岡市が福岡市産学連携交流センター（F i a S）に「F I B-S E M」「S E M」「T E M」「M A L D I - T O F - M A S S」等の大型分析機器を導入しました。

これを契機に、九州大学学術研究都市の一つの機能として、企業による分析機器の利用拡大と産学官の連携を推進する仕組みの検討を始めました。

平成 27 年度から、分析技術による企業支援手法の構築に向けて、試行的に『よろず相談室』を F i a S 内に設置し、産学官連携に取り組んでまいりましたが、更なる支援の充実を図るため、平成 28 年度から福岡市、九州大学、O P A C K、I S I T の 4 者連携によるネットワークを構築するとともに、よろず相談の中核となる組織『ナノテク分析・解析支援室』を I S I T 内に設置し、本格始動することといたしました。



2. 分析機器の集積

(1) 福岡市産学連携交流センターの主な分析機器

<http://sangaku-center.city.fukuoka.lg.jp/bunnseki.html>

(2) 九州大学が学外利用を推進している主な分析機器

◆中央分析センター：<http://bunseki.kyushu-u.ac.jp/bunseki/>

◆九州大学分子・物質合成 PF：<http://nano.kyushu-u.ac.jp/>

◆九州大学微細構造解析 PF：<http://nanoplat.hvem.kyushu-u.ac.jp/>

(3) 超高压電子顕微鏡フォーラム

http://www.opack.jp/seedsneedsdb/photo/seedsneeds_20130402133711_1.pdf